

ロボット「動け！」

プログラミング教室、大会 小中学生19人が学ぶ

大館
館

小中学生向けのロボット教室と「大館カップ2025大会」が23日、大館市の秋田職業能力開発短期大学校で開かれた。児童生徒19人がプログ



プログラミングしたロボットを走行させる参加者
(秋田職能短大)

ラミングの基礎を学び、培った技術力を競い合った。将来のものづくり人材を育てる「おおだてロボット人材育成コンソーシアム(佐藤義晃会長)の主催。プログラミングへの関心を高め、論理的思考や課題解決能力を高める

狙いで開催している。

教室には初級、中級の両コース合わせて小学4年〜中学1年の19人が参加。東光コンピュータ・サービスの社員や同校教員らを講師に、ロボットの動作を指示するプログラミングの組み方を学んだ。

大会には初級15人、中級4人が出場。直進や停止、左右旋回をロボットにプログラミングし、既定のコースを走行させて正確さや速さを競った。風船割りなど指定場所での課題をクリアすると、声を上げたり、ガッツポーズをしたりして喜んでいった。

結果は次の通り。

▽初級 ①虹川優志(川口小4年) ②佐藤享祐(城西小6年) ③松村和賀子(城南小同)

▽中級 ①大黒暖人(有浦小5年) ②兜森凜(国際中1年) ③酒井條士(長木小4年)